

市民など約600人が参加

薬物乱用防止運動大会

兵庫県

兵庫県などの主催による2024年度薬物乱用防止運動兵庫大会が16日、神戸市内で開催され、関係者や市民ら約600人が参加した。薬物乱用防止運動大会は、近畿府県の持

ち回りで毎年開催されているが、兵庫県では8年ぶりのリアル開催となった。大会では、神戸薬科大学の学生らによる大会宣言が行われ、厚生労働大臣あいさつを厚労省医薬局監視指導・麻薬対策課の深田真功

薬物取締調整官が代読し、23年は大麻検挙者数が6703人と過去最高を更新し、1951年の統計開始以降、初めて覚醒剤検挙者数を上回る数となったことを紹介。

このうち30代未満の若年層が7割以上を占めるなど「若年者大麻乱用期」の渦中にあり、SNS等を通じた大麻に関連する誤った情報

の流布や、大麻等の違法薬物の密売を持ちかける投稿が若年者大麻乱用期という状況に拍車をかけていることも指摘。深田氏は「薬物に関する正しい知識を身に付けていたため、啓発活動に一層取り組んでいく必要がある」と参加者に呼びかけた。

また、大会では9月6日に県の薬物乱用防止PR大使に委嘱された兵庫県神戸発の人工知能Vチューバー「九十九みな」による薬物乱



Vチューバーの九十九みな



シンガーソングライターの田畑さん

用防止教室が行われた。同じくPR大使で兵庫県出身のシンガーソングライターの田畑実和さんによる啓発ソングも披露され、それぞれが会場を盛り上げた。